

株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る
郵便番号 600-8652

「京銀輝く未来応援ファンド」第2号案件への投資について ～人工知能を活用してヘルスケアサービスを提供する「株式会社 ハカルス」へ出資～

京都銀行（頭取 土井 伸宏）が、平成 28 年 2 月にグループ会社の京銀リース・キャピタル株式会社（代表取締役会長 勝田 純一）と共同で設立した「京銀輝く未来応援ファンド投資事業有限責任組合」は、第 2 号投資案件として、スマートフォン向けのヘルスケアサービスを提供する「株式会社 ハカルス」へ出資いたしました。

「株式会社 ハカルス」は、スマートフォンアプリ等により、人工知能などのテクノロジーを活用した食事指導や健康管理サービスを提供しているベンチャー企業です。当社は、京都大学との共同研究で開発した独自の人工知能と機械学習システムをヘルスケア分野に応用しており、当社が展開する事業は食事管理を通じた予防医療に貢献することが期待されています。

当行では、将来成長が期待できる創業企業やベンチャー企業、中小企業のほか、事業承継ニーズを有する中小企業等に投資を行う当ファンドを通じ、創業段階から成長段階といった幅広いステージの企業を積極的に支援し、今後もさらなる地域経済の活性化と地域創生に貢献してまいります。

記

1. 投資先概要

企業名	株式会社 ハカルス
代表者	藤原 健真
所在地	京都市下京区中堂寺栗田町93 京都リサーチパーク 6号館 406号室
設立	平成 26 年 1 月 1 4 日
事業内容	健康促進サービス「Hacarus」の提供 当社が開発したスマートフォンと連動したキッチンスケール(電子はかり)の販売 ※健康促進サービス「Hacarus」 …一人ひとりに合わせてカスタマイズすることができ、管理栄養士から食事におけるアドバイスが届くスマートフォン向けアプリ。現代社会において乱れがちな食生活が要因となり生活習慣病を患う人が増加する中、食事の栄養バランスを整えることで予防医療の効果を得ることを目的としている。

2. 投資の理由

健康寿命を延ばす予防医療への注目・重要性が高まる中、「テクノロジーを駆使した医食同源の実現」をミッションとし、食を通じて人々の健康をサポートする事業を展開している「株式会社 ハカルス」に、開発人材の採用、サービス運営体制および法人営業体制の強化を図るための資金として出資を行う。

3. 京銀輝く未来応援ファンドの概要

名 称	京銀輝く未来応援ファンド投資事業有限責任組合 (略称：京銀未来ファンド)
投資対象	当行営業エリア内に本社を置く以下の企業 ・独自技術や新規性のあるビジネスモデルを有し、将来成長が期待できる創業企業やベンチャー企業、中小企業等 ・後継者不在など事業承継ニーズを有する中小企業等
出 資 者	無限責任組合員：京銀リース・キャピタル株式会社 有限責任組合員：株式会社 京都銀行
ファンド総額	5億円
当行出資額	4億95百万円
設 立	平成28年2月25日
存続期間	10年(ただし、合意により2年間の延長可能)

以 上